

# 2013年度予算

## 1 予算編成の基調

- (1) 2013年度の課題達成にむけて予算編成をおこないました。
- (2) 損益は各部門ごとに区分しています。食堂はDining TERRA、第2食堂、FORET、サンカフェ、ホッかるショップ、コンパ(パーティ)すべての合計です。購買部は、柏原店・天王寺店の合計です。
- (3) 店舗段階での事業剰余確保に努め、定期的な施設への投資ができる経営基盤をめざします。  
※予算作成時点では、2013年度中の柏原複合店改装は見込まずに作成しています。

## 2 予算編成方針

- (1) 食堂部は供給高・人件費については各店舗を基礎単位に編成し、物件費・連合分担金は部門合算で作成しました。購買部は柏原店、天王寺店と分けて作成した損益予算を合算しています。また、本部の供給高は自動販売機の供給です。
- (2) 供給高については、食堂部は全体として昼ピークの席回転数のアップ(選びやすいメニュー構成と混雑対策)、品切れ・品枯れの防止によって供給高を約1%増加させる計画です。  
購買については、書籍分野で2%、コンビニ・非食品物販・旅行サービスの各分野でそれぞれ1%の供給を増加させる計画です。選書システムでの公費利用促進、公務員試験対策などスタディガイド分野の強化、電子マネー普及による昼のコンビニレジ混雑緩和、教材文具やオリジナル商品の強化、DM回数を増やしての教習所の宣伝強化などを具体的な取り組みとして計画しています。  
自動販売機については、2013年度より部分的に競争入札で事業者を決定すると連絡を大学より受けているため、下期より減額して年間△20%減少の予算としています。
- (3) 供給剰余金については、食堂部で主にバイキングやカフェメニューの供給剰余率の適正化を図ることで供給剰余率の改善を見込んでいます。一方購買部では、昨年まで「事業外費用」として反映していた「消費期限の短い商品の廃棄ロス」が2013年度より供給剰余金の減少に反映されるため、前年比△3%の減少予算となっており、生協全体としては前年より3%改善の予算としています。
- (4) 経費のうち、人件費の職員給与は2012年度末の態勢(2名)を維持する計画です。  
定時職員については、食堂部でリーダー制による運営強化を見込み、約68万円の増加計画を組んでいます。  
物件費については、アクションプランに掲げている広報の強化や、経営を安定させるための要となる職員(主に定時職員)の教育のために、広報費と研修採用費を前年に比べて大きく増額しました。  
食堂部で「雑費」に計上している350万円は、「ミールカードの利用超過分」に備える金額で、2012年度の見込みを踏まえて増額して予算化しました。  
また、大きな投資があった際の「減価償却費用」については、すべて本部経費として計上しており、TERRAの投資後4年目の今期は248万円減少しています。
- (5) 物件費の中の「事業連合委託費」は、阪神事業連合への委託費用で、事業連合の会員である各生協が分担して負担するものですが、分担基準については以下のとおりとなります。  
大阪事業連合と神戸事業連合との合併に伴い、段階的に減少する予定で、その3年目です。

	食堂	書籍	購買	サービス	経理	運営	合計
供給剰余	6.110%	2.511%	3.915%	5.310%			
供給高					0.430%	0.200%	
委託費	6,220	342	1,901	688	2,668	1,241	13,060

(単位: 千円)

上記で計算された合計金額(1,306万円)を下記のとおり再配分して各店舗の予算に計上しています。  
この金額は、前年より合計で約314万円減少しています。

	食堂	書籍	購買	サービス	本部	本部
予算配分	24.80%	5.00%	21.90%	5.50%	26.50%	16.30%

- (6) 供給剰余金を適正に残すことと人件費のコントロールで、事業剰余で約354万円、税引前当期剰余で少なくとも1,034万円の剰余を残し、次年度の投資に備える計画です。

## 2013年度 損益予算

単位:千円	購買小計		食堂小計		本部小計		大教大生協合計			
	13年予算	12年実績	13年予算	12年実績	13年予算	12年実績	13年予算	12年実績	前年差	前年比
<b>総 供 給 高</b>	406,099	401,540	187,041	185,068	18,661	23,204	611,801	609,813	1,988	0.3%
供 給 値 引	4,959	3,830	0	3,199	0	0	4,959	7,029	△ 2,070	△ 41.7%
供 給 剩 余 金	64,199	66,144	104,393	96,301	4,293	5,236	172,885	167,772	5,113	3.0%
共済受託手数料収入	0	0	0	0	3,937	3,911	3,937	3,911	26	0.7%
教育文化事業収入	0	0	0	0	0	126	0	126	△ 126	-
供給事業手数料収入	902	1,102	0	388	0	0	902	1,490	△ 588	△ 65.2%
その他手数料収入	1,650	2,079	0	34	9,250	9,725	10,900	11,839	△ 939	△ 8.6%
<b>その他事業収入計</b>	<b>2,552</b>	<b>3,181</b>	<b>0</b>	<b>422</b>	<b>13,187</b>	<b>13,762</b>	<b>15,739</b>	<b>17,366</b>	<b>△ 1,627</b>	<b>△ 10.3%</b>
<b>事業総剰余金</b>	<b>66,751</b>	<b>69,326</b>	<b>104,393</b>	<b>96,724</b>	<b>17,480</b>	<b>19,090</b>	<b>188,624</b>	<b>185,140</b>	<b>3,484</b>	<b>1.8%</b>
役 員 報 酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
職 員 給 与	0	0	3,840	5,102	7,977	7,845	11,817	12,947	△ 1,130	△ 9.6%
定 時 職 員 給 与	26,965	27,186	45,462	44,776	4,253	4,224	76,680	76,187	493	0.6%
退 職 給 付 費 用	0	0	634	517	1,034	1,591	1,668	2,108	△ 440	△ 26.4%
法 定 福 利 費	541	534	1,175	1,133	1,355	1,361	3,071	3,029	42	1.4%
厚 生 費	48	47	219	963	118	118	385	1,130	△ 745	△ 193.5%
役員退職引当損繰入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
賞与引当絵金繰入	504	0	1,280	280	0	0	1,784	280	1,504	84.3%
派 遣 人 件 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
<b>人 件 費 合 計</b>	<b>28,058</b>	<b>27,768</b>	<b>52,610</b>	<b>52,773</b>	<b>14,737</b>	<b>15,142</b>	<b>95,405</b>	<b>91,961</b>	<b>3,444</b>	<b>3.6%</b>
教 育 文 化 費	0	0	0	0	1,943	1,813	1,943	1,813	130	6.7%
広 報 費	1,040	1,133	220	287	4,464	3,697	5,724	5,117	607	10.6%
消 耗 品 費	2,270	1,790	7,069	6,993	3,252	2,834	12,591	11,618	973	7.7%
物 流 費	1,145	1,068	0	0	0	-	1,145	1,068	77	6.7%
車 両 運 搬 費	513	505	0	150	75	169	588	825	△ 237	△ 40.3%
貸倒引当金繰入	0	0	0	0	162	146	162	146	16	9.9%
ポイント引当金繰入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
施設維持管理費	959	944	3,000	3,002	123	132	4,082	4,079	3	0.1%
減 価 償 却 費	0	0	0	0	12,432	14,915	12,432	14,915	△ 2,483	△ 20.0%
賃 借 料	235	138	0	93	1,144	1,230	1,379	1,462	△ 83	△ 6.0%
水 道 光 熱 費	3,204	3,012	11,002	10,108	874	850	15,080	13,971	1,109	7.4%
保 険 料	0	0	0	0	448	450	448	450	△ 2	△ 0.4%
委 託 料	2,245	2,192	3,025	3,062	3,356	3,212	8,626	8,467	159	1.8%
研 修 採 用 費	142	129	100	104	750	325	992	559	433	43.6%
調 査 研 究 費	78	70	24	26	538	465	640	561	79	12.3%
会 議 費	41	43	26	36	838	719	905	799	106	11.7%
諸 会 費	0	0	0	23	2,537	2,533	2,537	2,556	△ 19	△ 0.7%
渉 外 費	0	0	0	0	82	172	82	172	△ 90	△ 109.8%
租 税 公 課	0	0	0	0	19	20	19	20	△ 1	△ 5.3%
通 信 交 通 費	304	273	400	200	1,521	1,300	2,225	1,773	452	20.3%
雑 費	0	1	3,500	0	1,227	1,226	4,727	1,227	3,500	74.0%
事業連合委託費	4,231	5,250	3,239	4,019	5,878	6,935	13,348	16,204	△ 2,856	△ 21.4%
<b>物 件 費 合 計</b>	<b>16,407</b>	<b>16,552</b>	<b>31,605</b>	<b>28,106</b>	<b>41,663</b>	<b>43,152</b>	<b>89,675</b>	<b>95,683</b>	<b>△ 6,008</b>	<b>△ 6.7%</b>
<b>事業経費合計</b>	<b>44,465</b>	<b>44,321</b>	<b>84,215</b>	<b>80,880</b>	<b>56,400</b>	<b>58,294</b>	<b>185,080</b>	<b>183,495</b>	<b>1,585</b>	<b>0.9%</b>
<b>事業剰余金</b>	<b>22,286</b>	<b>25,004</b>	<b>20,178</b>	<b>15,844</b>	<b>△ 38,920</b>	<b>△ 39,203</b>	<b>3,544</b>	<b>1,645</b>	<b>1,899</b>	<b>53.6%</b>
事業外収益	0	392	0	2,729	1,810	1,873	1,810	4,995	△ 3,185	△ 176.0%
事業外費用	200	3,764	0	1	1,083	296	1,283	4,063	△ 2,780	△ 216.7%
<b>経常剰余金</b>	<b>22,476</b>	<b>21,632</b>	<b>20,178</b>	<b>18,572</b>	<b>△ 38,193</b>	<b>△ 37,627</b>	<b>4,071</b>	<b>2,577</b>	<b>1,494</b>	<b>36.7%</b>
特 別 利 益	0	0	0	0	7,000	14,192	7,000	14,192	△ 7,192	△ 102.7%
特 別 損 失	0	0	0	0	680	397	680	397	283	41.6%
<b>税引前剰余金</b>	<b>22,476</b>	<b>21,632</b>	<b>20,178</b>	<b>18,572</b>	<b>△ 31,873</b>	<b>△ 23,832</b>	<b>10,391</b>	<b>16,372</b>	<b>△ 5,981</b>	<b>△ 57.6%</b>
法 人 税 等	0	0	0	0	6,000	5,281	6,000	5,281	719	12.0%
<b>当期剰余金</b>	<b>22,086</b>	<b>21,632</b>	<b>20,178</b>	<b>18,572</b>	<b>△ 37,873</b>	<b>△ 29,113</b>	<b>4,391</b>	<b>11,090</b>	<b>△ 6,699</b>	<b>△ 152.6%</b>
供 給 剩 余 率	15.81%	16.47%	55.81%	52.04%	23.01%	22.96%	28.26%	27.51%	0.75	2.6%
労 働 分 配 率	42.03%	40.05%	50.40%	54.56%	84.31%	79.32%	50.58%	49.67%	0.91	1.8%
事 業 剩 余 率	5.49%	6.23%	10.79%	8.56%	△ 208.56%	△ 168.95%	0.58%	0.27%	0.30	0.5%
経 常 剩 余 率	5.53%	5.39%	10.79%	10.04%	△ 204.67%	△ 162.16%	0.67%	0.42%	0.30	2.6%

## 2013 年度事業計画

### 1. 2013 年度の情勢認識

#### (1) 組合員の生活の変化・大学生協をとりまく社会情勢

- ・ 2012 年に実施した学生生活実態調査によると、収入面では自宅生の収入が 5 年ぶりに増加に転じていますが、奨学金の受給金額はやや減少し、下宿生も含め収入増はアルバイト代に頼る結果が見られます。支出面では食費はともに増加に転じているものの、下宿生では引き続き 1 カ月の食費が全国平均でも 1976 年並みの 22,970 円となっており、厳しい経済状況は固定化しつつあります。今後の暮らし向きについて、「苦しくなりそう」と答えた組合員は 32.3%から 13.7%に減少しましたが、「よくなりそう」という人も 27.9%から 15.5%に減少しており、明るい見通しは持っていないのが現状です。2014 年 4 月の消費税率引き上げ決定も、今後の消費動向に大きな影響を与えるものと思われます。大学生協としても価格設定や商品構成の見直しなど、具体的な検討と方針決定が必要になっています。
- ・ 12 年 3 月卒業の大卒者の就職内定率は、昨年より 1.2%増の 81.7%(2 月 1 日)となりましたが、やはり「将来に向けた不安」の第 1 位は「就職できるか」(47.2%)、次いで「自分が何に向いているか」(23.6%)、「希望の職種につけるか」(22.9%)となっており、引き続き大きな不安を抱えている状況に変わりはありません。「自分が仕事を続けられるか」という不安は 3 回生で 29.5%、4 回生で 23.9%と上回生にいくほど大きくなり、これは大教大だけでなく全国的な傾向となっています。文部科学省がすすめる「グローバル人材育成」に向けて、大学生協としても大学生活の中で自分自身の将来を考える場面を旺盛につくり、組合員どうしの協同やつながりを活かしたキャリアサポートが重要になってきています。
- ・ 大学の中では、「大学改革実行プラン」に基づき様々な改革が検討されています。大阪教育大学でも、学部カリキュラムの再編、他の教員養成大学との連携、国際化に向けた実践、経営の強化など様々な問題に対し、大学は変化を模索しています。私たちは大きな視点でその変化を見ながら、大学の変化に対して、対応していくことが求められます。日常的な大学との関係作りを大切に、大学の方針をきちんと理解し、大学の勉学研究・学生支援や学生サービスの充実を図るうえで大学のパートナーとして大学生協がしっかり貢献できるよう、生協にできることを積極的に大学に提案し、協議をすすめていくことが重要です。

### 2. 2013 年度方針の基調

昨年度の総代会で策定「大阪教育大学生協のビジョンとアクションプラン」に基づき、アクションプラン(中期計画)の 2 年目として、1 年目の進捗状況を踏まえアクションプランの実現に取り組みます。

### 3. 2013 年度に達成すべき課題

#### 1. 勉学や教育・研究に必要な商品やサービスを充実させる事業にとりくみます

- ① 授業に必要な教科書・参考書の手配はもちろん、TOEFL 等大学が実施する検定試験などをサポートします
  - 2014 年度春の教科書販売に向け、販売会場での IC レジ導入や事前購入など、より「利用しやすく混雑せずに購入できる」教科書販売の方法を他大学生協のとりくみを元に研

究、準備します

- 教科書と合わせて授業で使用する教材についての調査と、店頭での品揃えを強化します
- ② 教員の図書購入をサポートするための「選書システム」を導入し、定着を目指します
  - 2013年4月に導入した「選書システム」の教員の利用を促進するため、定期的な広報を行います
- ③ 学生の読書習慣を養う「読書マラソン」にとりくみ、読書を通じた組合員どうしの交流を広げます

## 2. 大学構成員の福利厚生の実現のため、大学や教育振興会とも協力しながら施設やサービスを改善し、組合員満足度を高めます

- ① 大学生協の満足度・生協店舗の利用満足度を高めるため、生協職員自らが厳しい目で評価・改善し続けるとともに、アンケートや「一言カード」での要望にできる限り応えます
  - 学生委員会と協力しながら「一言カード」の認知度向上を図ります。2013年度の学生生活実態調査で、「一言カード」を「知らない」人が10%以下(11年度10.2%、12年度28.8%)になることをめざします
  - 組合員満足度を高めるための店舗毎の課題を設定し、定例の職員会議で月次の進捗状況を確認しながら取り組みます。また、パート職員や学生委員会の会議研修等で「学生生活実態調査」や「利用者アンケート」の報告を行い、役職員全体で組合員の目からみた改善すべき課題について認識し、とりくみます
  - 組合員満足度の評価として、以下の数値を目指します(前年より3ポイントアップ)

	購買部		食堂部	
	13年目標	12年実績	13年目標	12年実績
総合評価(10点満点)	7.5点	7.2点	7.8点	7.5点
欲しい商品・好みのメニューがある	58.0%	54.7%	71.0%	67.5%
商品の品質がよい	77.0%	74.2%		
すぐ食べられる			85.0%	81.6%
店内がきれい・店内が明るく清潔	90.0%	87.1%	78.0%	75.3%
声が活かされている	82.0%	78.6%	88.0%	85.2%

	13年目標	12年実績
あなたにとって生協は 身近・まあ身近	100.0%	96.7%
現在の生協は 満足・まあ満足	90.0%	86.7%
トータルで見て生協は 好き・まあ好き	94.0%	90.8%

- ② 組合員の大きな不満である「混雑問題」については、組合員の協力も求めながら、導線の整理やホール誘導係を配置するなどの手立てを実施し続けます
  - 昼ピークタイムのホール誘導係を定着させ、席のゆずり合いなどを年間を通じて呼びかけます
- ③ 未だ着手できていない柏原キャンパス複合店の改装を準備し、2014年実施を目指して大学と協議をすすめます
  - 1年前倒しで、2013年夏に複合店の改装を実施します。より「組合員が利用しやすく、大学の福利厚生や勉強研究に貢献できること」を実現できるよう、理事会を中心に検討

して実施します

- ④ 「大学生活 4 年間の中でどこかの生協店舗がリニューアルされる」という状況を作れるよう、自己投資に耐えうる、適切な剰余を生み出す経営を続けます
  - 4 年に 1 回は自己投資できるように、投資をしても累積赤字化させない強い経営体質をつくるため、2013 年度は特に定時職員の教育に注力します

### 3. 大学のキャリアサポートのとりくみに貢献するとともに、組合員どうしの協同の中から学生の「将来を考え、準備する」ための場づくりを行います

- ① 組合員と大学が求めている「英語力」「PC 活用力」を高めるための事業に着手します
  - 「グローバル人材育成」を念頭においた「英語グローバルコミュニケーション講座」を新た実施し、学生組合員の「英語学習力」や「一歩踏み出す力」を高めます。また前年に引き続き「IT パスポート試験」対策のための講座を実施し、先輩サポーターを中心に資格取得をサポートします
- ② 「就職活動を始める 3 年生までにどのような大学生活を送っていくべきか」を考えるための、1 年生向けのセミナーや講座などにとりくみます
- ③ 大学生協らしく「先輩組合員と後輩組合員」「教職員組合員と学生組合員」「組合員どうし」の協同やつながりを通じて、「自分の将来を考え成長を育む」場づくりを行います
  - 2013 年度の生協主催講座（「PC&情報活用講座」「英語グローバルコミュニケーション講座」「IT パスポート試験トレーニング講座」）には、「キャリアサポーター」を位置づけ、「先輩組合員が後輩組合員をサポートする」中で「受講生とともにサポーターが成長する」事業をつくります
  - 「キャリアサポーター」をただのアルバイトではなく「生協インターンシップ」と位置づけ、外部講師を招いた研修も位置づけながら、サポーターの成長も育む事業とします
- ④ 大学のキャリア支援センターと協議の場を設け、意見交換をすすめながら、大学生協が行える事業についてさらなる検討と大学への提案を行います
  - 大学生協ならではの寄附講座やキャリアガイダンス講師について、2013 年度内に計画立案し、キャリア支援センターとの懇談を踏まえて具体化を提案します
  - 大学生協の実施している「サポーターを中心としたキャリア支援事業」についてキャリア支援センターへ報告を行い、「生協インターンシップ」について意見交換をおこないます
- ⑤ 寄附講座や奨学金など、間接的に大学の教育・研究を支えとりくみについて大学へ提案し、協議を行いながら実施します

### 4. さまざまなテーマについて考え・知らせるとりくみや事業を通して、学生の「生活主体者」としての成長を支援します

- ① 健康的な食生活を送れる「食生活の自立」や、消費者被害にあわず自活できる「消費生活の自立」、一般社会で生活する上での「マナー」など様々なテーマでの学びの場づくりを行います
  - 一人暮らしを始める学生が「自立した下宿生活」を送るためのサポートを行う存在として、新学期の「下宿生サポーター」を位置づけます。また「集団生活の中でのマナーを学び、自分たちで解決していける関係づくり」を目標に、「入居者の集い」にとりくみます
- ② 健康で安全な大学生活を送れるための「学生どうしの助け合い（共済事業）」の強化と、病気・

#### 事故防止のための啓蒙活動の強化をおこないます

- 全国の他の教員養成大学に比べて大教大は、加入率、給付率ともに低い水準です。学生委員会や体育会とともに、年間を通じて「加入」「給付」を呼びかけるとりくみを実施します
  - 具体的には体育会 CM 会議での定期的な広報活動、サークルミーティングでの広報活動のほか、店舗での広報を、職員を中心にすすめます。また、学生委員会の健康安全企画や広報のとりくみの中に、「学生どうしの助け合い“学生総合共済”」を知らせ、加入を呼びかけることを位置づけます
  - 具体的な数値目標として、共済事業の認知度 60%（12 年度 48.3%、11 年度 53.1%）を目指します
- ③ 学生が自分と社会や他人とのつながりを知り、社会性を身につける場面として、事業への参加や環境問題、国際交流などを位置づけ、とりくみます

#### **5. 大学生協の存在価値を組合員自らが実感できるよう、広報活動を強化するとともに加入促進と事業活動への組合員の参加を広げます**

- ① 大学生協の使命や目標を大学、教職員、学生やその保護者に対して広く発信し、大学生協を知ってもらうとりくみをすすめます
- 「大阪教育大学生協のビジョンとアクションプラン」のパンフレットを総代会で配布するとともに、生協未加入者対策として活用します
- ② 教職員の生協加入率を高めるためのとりくみを実施し、すべての大学構成員が参加・協力できる組織づくりをすすめます
- 「写真でみる大教大生協のとりくみ 2012 年度版」を、「大阪教育大学生協のビジョンとアクションプラン」のパンフレットとともに教職員に広く配布し、あらためて未加入の方へ生協加入をよびかけます
  - 主に新規加入を呼びかけるための「生協加入&利用ガイド」を作成し、2013 年度中に教職員に配布します
- ③ 大学生協の事業に直接組合員が参加できる場面を増やし、「利用者」としてのみでなく「運営者」として生協への関わりをもてる組合員を増やします
- 引き続き学生委員会の活動の中で「店舗のとりくみ」を位置づけ、学生委員会を中心に多くの組合員が「運営参加」への実感が持てることを重視します
- ④ 組合員の事業参加の場面に生協で働くパート職員の参加も広げ、やりがいの実感できる組織づくりをおこないます
- パート研修の中での学生委員会の活動報告を位置づけるだけでなく、毎月の理事会での学生委員会報告をパート職員にも共有しています

#### **6. 地域や社会の中での大学の在り方に根差し、大学の要望に応え続けるとともに、自らも自立した事業組織として持続可能な社会づくりに貢献します**

- ① 省エネキャンパスの実現のため、大学の省エネルギーのとりくみに協力するとともに、店舗内・事務所内での省エネに年間を通じてとりくみます
- 複合店の改装時には省電力、省エネの観点からも設備・備品等を検討します
- ② 国際交流フェスティバルなど「地域に開かれた大学づくり」のためのとりくみに積極的に協力します

- 引き続き留学生後援会や留学生への冠奨学金の寄附などをすすめ、大阪教育大学の国際化のとりくみにも協力していきます
- ③ リサイクル可能なテイクアウト容器を使用するとともに、回収率向上（リサイクル促進）のための啓蒙活動を強化します
  - 「ホッかる容器」の回収率が、年間を通じて回収率が30%以上を維持できるよう、学生委員会を中心にリサイクル促進にとりくみます（2012年度回収率は年間平均21%）
- ④ 大きな災害が起きた被災地への支援活動に継続的にとりくみます。また、万が一大学が被災地になった場合には、大学と連携・協力したとりくみをすすめます
  - 全国大学生協連（大阪兵庫和歌山ブロック）からの情報提供にもとづき、東日本大震災の被災地支援や防災のとりくみを継続的にすすめます

以上